

2017年9月5日
米州開発銀行
池田泉州TT証券株式会社

EYE（教育・若年層支援・雇用支援）ボンド（米州開発銀行）を通じた

社会的責任投資への取り組みについて

池田泉州TT証券株式会社は、国内の個人投資家向けに、米州開発銀行（The Inter-American Development Bank）が発行するEYE（教育・若年層支援・雇用支援）ボンド（以下、「EYEボンド」）の販売を行いますのでその概要についてお知らせいたします。今回発行するEYEボンドは、期間5年のインドネシアルピア建て債券で（発行額:366億インドネシアルピア 販売期間：2017年9月5日から9月27日）、全額を池田泉州TT証券が販売いたします。

米州開発銀行は、中南米・カリブ海地域（LAC）における、貧困や所得格差を削減する取組に対して融資を行っています。EYE ボンド・プログラムは、米州開発銀行 が定義する適格要件を満たす教育・若年層支援・雇用支援 プロジェクト向け融資です。EYE ボンドの発行により投資家の皆様からお預かりした資金（正味調達資金）と同額が、米州開発銀行内部において適格プロジェクト向けの個別勘定に繰り入れられ、米州開発銀行が定義する適格要件を満たす教育・若年層支援・雇用支援分野の融資プロジェクトに充当されます。

米州開発銀行は人的資本の形成に関し、幼年期の保育から正規の小・中・高等学校教育、更に、職業訓練を通じ学校から職場への移行を容易にするための就労支援プログラムまでを網羅する「ライフサイクル・アプローチ」を採用しています。このようなアプローチにより、幾つかの重要な介入の段階を通じて青少年の社会参加を促進させ、中南米・カリブ海地域（LAC）の生産性を向上させることに寄与します。

池田泉州TT証券の設立4周年にあたり、米州開発銀行が発行するEYEボンドの販売を通じて、投資を通じた社会貢献に関心のある日本の個人投資家の皆様に社会貢献に活用できる機会をご提供できることを大変意義深いことと考えており、今後ともこうした取引に積極的に取り組んで参りたいと考えます。

米州開発銀行（IDB）について

米州開発銀行（以下「IDB」）は 1959 年に設立された世界で最も歴史の古い多国間地域開発金融機関です。IDB の出資国は 48 カ国で、うち 26 カ国が中南米・カリブ海地域（LAC）の借入国、22 カ国が非借入加盟国です。IDB は中南米・カリブ海地域（LAC）で最大の政府系開発資金提供機関です。

IDB 債の格付けは Aaa(Moody's)、AAA(S&P)、見通しは「安定的」（2017 年 8 月 25 日現在）で、格付けを取得した 1962 年以来トリプル A 格を維持しています。

池田泉州 T T 証券について

池田泉州 T T 証券は平成 25 年 9 月 2 日に開業、近畿初の地方銀行系証券会社として、池田泉州ホールディングスグループの豊富なサービスと、東海東京フィナンシャル・グループの証券ビジネスに関するノウハウを融合させた証券会社です。「おもてなしの心」を大切に、「地域の皆さまに愛される証券会社」を目指しています。

以上